

## 立命館大学アート・リサーチセンター

文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」  
2017年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2018年 6月 18日 提出

1. 研究課題名	
祇園祭に関連する映像資料のデジタル・アーカイブとデータベース構築に関する総合的研究 (英文標記:A comprehensive study on digital archive and database creation of video and picture materials related to Gion festival)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
八反裕太郎 (はったん ゆうたろう)	颯川美術館 学芸員
3. 研究分担者 (合計: 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
中野貴広 (なかの たかひろ)	京都中堂寺六斎会 総務・広報
矢野桂司 (やの けいじ)	立命館大学 文学部 教授
佐藤弘隆 (さとう ひろたか)	立命館大学大学院 文学研究科 博士課程後期課程

4. 研究課題の概要(300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)
<p>本研究では、京都祇園祭に関する写真や動画フィルムなど映像資料をデジタル・アーカイブし、データベースで公開行う。立命館大学アート・リサーチセンターが所蔵する祇園祭に関する映像資料を精細に分析するとともに、未整理・新出の映像資料(個人蔵)をデジタル化し、アート・リサーチセンター所蔵資料と合わせさらに幅広い分析を行う。また、1978(昭和53)年刊行の『写真記録祇園祭』(祇園祭山鉾連合会)は祇園祭の歴史や変遷を写真より纏めた成果として貴重である。市民から写真を募り、本書の編集作業に携わった京都市職員(当時)の島田崇志氏が所有する約500枚の写真は未整理であり、本書から漏れた写真も多い。特に武者行列や祇園ねりものは現在廃絶された祭儀であり、それらを活写した写真や祭礼時の街の景観は極めて貴重である。これらの写真をデジタル・アーカイブし、データベースにすることにより、国内外の多くの方々に供することを旨とする。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)
<p>島田崇志氏によって収集された祇園祭に関連する写真1,031件の整理を行い、目録化した。これらすべての写真をスキャンし、デジタル・アーカイブした。デジタル化された画像は長江家住宅旧蔵(ARC所蔵)の写真やARCの別のプロジェクトで収集された祭礼に関する写真と共に「日本の祭り 写真データベース」(公開準備中)へ収容した。</p> <p>また、研究代表者によって収集された昭和初期の祇園祭及び京都の名所の動画フィルム3本、分担者の中野が提供を受けた戦後の祇園祭に関する動画フィルム2本のデジタル・アーカイブを行った。これらは長江家住宅旧蔵(ARC所蔵)の16mmフィルムと共に「近代京都映像データベース」(公開準備中)へ収容した。</p>

6. 研究業績

(1) 著書

八反裕太郎『描かれた祇園祭－山鉦巡行・ねりもの研究』思文閣出版 2018年1月刊

(2) 論文

(3) 研究発表等

(4) 主催したシンポジウム・研究会等

「都のまつり文化研究会」例会 「祇園祭細見」I～IX 於烏丸インターワンプレイス 参加人数 40人

(5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

(6) 受賞学術賞

(7) 科学研究費助成事業

(8) 競争的資金等(科研費を除く)

(9) その他